

## SORACOM Flux、カメラ×AIの活用を加速 分析対象をより正確に指定し、AIの分析精度や運用性を向上

AIで分析するエリアの枠線設定(バウンディングボックス)を  
多角形対応に拡張することで角度のある映像でも柔軟に指定可能に

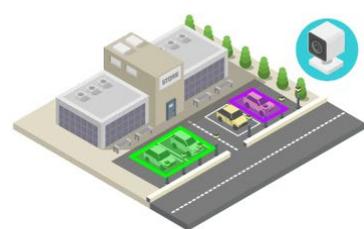
株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川憲)は、IoTシステムの自動化やAIを活用したアプリケーションを構築できるサービス「SORACOM Flux(ソラコム フラックス)」において、カメラ映像を活用した現場業務の自動化をより柔軟に実現するため、カメラで撮影した画像内の分析対象を指定する「バウンディングボックスアクション」機能を拡張し、多角形の枠線設定に対応しました。これにより、対象枠(バウンディングボックス)をより柔軟に指定でき、AIでの分析精度や運用性の向上に加え、解析のために現場環境を変更する必要がなくなり、カメラ×AI活用の導入障壁を下げます。



立ち入り禁止エリアを指定した  
侵入検知



店舗内 特定コーナーの在庫検知



駐車場の特定エリアの  
満空確認

SORACOM Fluxは、センサーやカメラなどから取得したIoTデータをもとに、通知や生成AIによる分析といった処理を組み合わせることで、現場で発生する業務の効率化を実現するIoTオートメーションサービスです。プログラミングの知識がなくても、ブラウザ上の操作だけで設定できることから、現場主導のデジタル化を支援する仕組みとして活用が進んでいます。

SORACOM Fluxでは、イベントトリガー、条件分岐、アクション、出力先など、アプリケーションを構成する各要素をユーザー自身が設計します。バウンディングボックスアクションは、カメラで撮影した画像の中で対象エリアを枠線で囲んで指定し、生成AIで分析する際の分析対象を設定できる機能です。

今回、多角形の枠線設定に対応したことで、AIで分析する範囲をより細かく指定でき、意図したエリアだけを的確に分析できるようになります。斜めに設置されたカメラ映像や広角の映像で

は、分析対象エリアが四角形では囲いにくい場合がありますが、多角形での指定により、棚や売り場など直線では囲みきれない形状や、複数に分かれたエリアなども柔軟に指定できるようになりました。

例えば、売り場の映像に対して、惣菜コーナー、特売コーナーなど売り場の見たい箇所を複数指定して在庫状況や人の滞留状況をAIで分析し、通知することができます。製造業や建設現場においては、立ち入り不可エリアへの不正侵入の有無の通知、また、建物管理においては、駐車場敷地内の複数のエリアを指定して、総合的な駐車状況の通知など、現場の確認作業を減らす用途にも活用できます。

バウンディングボックスアクションは、SORACOM FluxのStandard プランおよび Enterprise プランで利用できます。

また、SORACOM Fluxのテンプレートを複製するだけで、自動化アプリケーションをすぐに利用開始できる「アプリテンプレート」も、順次拡充しています。新たに追加された「ソラカメで動画の解析と通知」は、ソラコムクラウドカメラサービス「ソラカメ」を利用したケースで、動きや音声などのモーション検知イベントをきっかけに撮影した動画をAIで分析し、Emailに状況を通知するテンプレートです。静止画撮影では、動きが発生したタイミングに合わせて撮影することが難しい場合がありますが、その前後を含む動画を分析対象とすることで、現場で起きた状況をより状況を把握しやすい映像を用いた解析が可能になります。

SORACOM Fluxは、お客様からのユースケースに基づくフィードバックや最新の生成AIサービス動向を踏まえて、引き続き機能をアップデートし、現場のデジタル化と自動化を推進していきます。

## SORACOM Flux について

SORACOM Fluxは、デバイスから送信されたセンサーデータやカメラから送信された画像に対して、ルールを適用し、複数のデータソースや生成AIを組み合わせて分析/判断し、その結果をデバイスの制御に反映させるIoTアプリケーションをブラウザ上の操作で構築できます。

## <バウンディングボックスアクションの設定画面イメージ>

多角形設定を選択すると、画像上で複数の点を指定して囲むことで、複雑な形状のエリアを分析対象として設定できます。

### バウンディングボックスの編集

四角形および多角形のバウンディングボックスを作成・編集します。SoraCamのプレビュー画像を使用する場合は、あらかじめSoraCam静止画ダウンロード管理ページからダウンロードしてください。

四角形 多角形 画像サイズ: 844 × 936 プレビュー画像をアップロード

X	Y
159	147
231	683
495	676
497	528
691	518
729	135

X	Y
292	158
268	161

ウェブサイト

<https://soracom.jp/services/flux/>

## 14種類のテンプレート詳細

### 業務の自動化を支援するテンプレート

- 温湿度センサーから熱中症リスク計算し多言語でチャットにお知らせ
- ソラカメで人数検知して可視化と通知
- ソラカメで異常の検知と通知
- ソラカメで動画の解析と通知
- pingによるデバイス死活監視

- LTE-M ボタンでソラカメにリアルタイムアクセス
- RTSP対応カメラで人数検知して通知
- GPSマルチユニットでパーソナル天気予報
- GPSマルチユニットで位置情報を判定して通知

#### SORACOMの運用を支援するテンプレート

- IoT SIMデータ通信量の通知
- SAMユーザーMFAチェックアプリ
- IoTプラットフォームSORACOMの利用料金の通知
- ソラカメの定期スリープと定期起動
- ソラカメの画質設定を定期更新
- ソラコム利用料金の通知

#### SORACOM IoT テンプレートギャラリー

<https://iot-template-gallery.soracom.jp/>

## ソラコムについて

AI/IoTプラットフォームSORACOMは、世界213の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

### <本ニュースに関するお問い合わせ>

株式会社ソラコム 広報 田淵  
[pr@soracom.jp](mailto:pr@soracom.jp)